

平成30年度		
氏名	おの まさる 尾野 優	
生年	昭和23年生	
住所	奈良県五條市	
品目	<p>吉野の切り枝花木（よしののきりえだかぼく）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉野地域は桜や梅など古くから花の名所で、「吉野の花」はJAならけん西吉野花木部会が出荷する切り枝花木・切り葉のブランド ・五條市西吉野町では明治から昭和初期にサンシュユ、シャクヤク等の薬用作物を導入・栽培し、一部が観賞用の切り枝として継承 ・露地のコウヤマキ、促成花物のサクラ、促成芽出し物のオウゴンバ、山採りのアセビ等、100種類以上を周年出荷するため「花木の百貨店」とも呼ばれ、市場では高く評価 	
技術	<p>低温積算時間に応じたサクラの開花調節</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県農業研究開発センターで作成された五條市のアメダス値を利用した簡易な判断基準を活用して、サクラ類の促成品目の開花調節を実施 ・旧西吉野村役場で産業振興に携わる中で、生産者が培ってきた管理技術を聞き取り、自らも兼業で生産する中、多種多様な切り枝花木品目の栽培管理・出荷調整技術を習得 	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年、役場退職後に本格的に切り枝花木栽培に取り組み、現在は露地90aとハウス0.4aでチョウセンマキ(8a)、サクラ(40a)、その他多品目を生産するほか、3戸の高齢農家の作業受託(5a：オウゴンヒバ、キャラ)を実施 ・年に数回、市場担当者への園地巡回案内や販売促進を実施しているほか、主要品目のチョウセンマキ・コウヤマキの共選目揃え会等で、部会員を指導 ・平成22年1月に開催された「NPO いけばなネットワーク21 京都」のミニ講演会「奥山の花木栽培」で講師を勤めるなど花材の活用をPR 	
相談に応じられる分野・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・サクラ（切り枝）の開花調節技術の指導 ・その他の切り枝花木の栽培、出荷調整に係る相談対応 ・マスコミ関係の受け入れ 	
受賞歴等	・	
主な役職	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年～平成22年 JAならけん西吉野花木部会 部会長 ・平成23年～現在 JAならけん西吉野花木部会 顧問 	
H P		



サンシュユ



ケイオウザクラ



コウヤマキ



チョウセンマキ